

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第3区分  
 【発行日】令和7年5月12日(2025.5.12)

【公開番号】特開2025-37240(P2025-37240A)  
 【公開日】令和7年3月17日(2025.3.17)  
 【年通号数】公開公報(特許)2025-048  
 【出願番号】特願2024-144390(P2024-144390)  
 【国際特許分類】  
 G 0 6 Q 5 0 / 1 0 ( 2 0 1 2 . 0 1 )  
 【 F I 】  
 G 0 6 Q 5 0 / 1 0

10

【手続補正書】  
 【提出日】令和7年4月30日(2025.4.30)  
 【手続補正1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】  
 【請求項1】

温室効果ガスの排出量を計算するための第1の排出係数を記憶する排出係数記憶部と、  
前記第1の排出係数を用いて、前記排出量を計算する排出量計算部と、  
 第2の排出係数を取得する取得部と、  
前記第2の排出係数を前記第1の排出係数に代えて更新する更新部と、  
 を備えることを特徴とする情報処理システム。

【請求項2】

請求項1に記載の情報処理システムであって、  
更新部は、ユーザの更新操作を受け付けることにより、前記第2の排出係数を前記第1の  
排出係数に代えて更新すること、  
 を特徴とする情報処理システム。

30

【請求項3】

請求項1に記載の情報処理システムであって、  
特定期間において、更新部は、前記第2の排出係数を前記第1の排出係数に代えて更新し  
ないように制限すること、  
を特徴とする情報処理システム。

【請求項4】

温室効果ガスの排出量を計算するための第1の排出係数を排出係数記憶部に記憶するステ  
 ップと、  
前記第1の排出係数を用いて、前記排出量を計算するステップと、  
 第2の排出係数を取得するステップと、  
前記第2の排出係数を前記第1の排出係数に代えて更新するステップと、  
 をコンピュータが実行することを特徴とする情報処理方法。

40

【請求項5】

温室効果ガスの排出量を計算するための第1の排出係数を排出係数記憶部に記憶するステ  
 ップと、  
前記第1の排出係数を用いて、前記排出量を計算するステップと、  
 第2の排出係数を取得するステップと、  
前記第2の排出係数を前記第1の排出係数に代えて更新するステップと、

50

をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本態様に係る情報処理システムは、温室効果ガスの排出量を計算するための第1の排出係数を記憶する排出係数記憶部と、前記第1の排出係数を用いて、前記排出量を計算する排出量計算部と、第2の排出係数を取得する取得部と、前記第2の排出係数を前記第1の排出係数に代えて更新する更新部と、を備えることを特徴とする。

10

20

30

40

50